

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 1 部門第 2 区分
 【発行日】平成28年11月24日 (2016.11.24)

【公開番号】特開2015-73674(P2015-73674A)
 【公開日】平成27年4月20日 (2015.4.20)
 【年通号数】公開・登録公報2015-026
 【出願番号】特願2013-210918(P2013-210918)
 【国際特許分類】

A 6 3 F 5/04 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 5/04 5 1 2 A

A 6 3 F 5/04 5 1 2 D

【手続補正書】
 【提出日】平成28年10月4日 (2016.10.4)
 【手続補正 1】
 【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】0 0 0 1
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【0 0 0 1】

本発明は、遊技者の開始操作部の開始操作によって複数の識別情報の変動表示を開始し、遊技者の停止操作部の停止操作によって当該複数の識別情報を停止表示させる変動表示ゲームを実行する変動表示手段と、前記変動表示ゲームの実行に伴い所定の演出表示を行う演出表示装置と、前記演出表示装置における表示を制御する制御手段と、を備える遊技機に関する。

【手続補正 2】
 【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】0 0 0 2
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【0 0 0 2】

従来の遊技機においては、始動条件が成立したことに基づいて、複数の識別情報（図柄、記号など）が変動する変動表示ゲームを実行し、停止した複数の識別情報の態様が予め定められた特別結果態様であった場合には、遊技者にとって有利な特別遊技状態となり、遊技者が多くの利益を獲得可能にするものがある（例えば、特許文献 1 参照）。

【手続補正 3】
 【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】0 0 0 3
 【補正方法】削除
 【補正の内容】
 【手続補正 4】
 【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】0 0 0 5
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【0 0 0 5】

しかしながら、上記特許文献 1 に開示された遊技機では、高い演出効果を持つ演出が実行されず、遊技の興趣が低下する虞がある。

【手続補正 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

本発明は、上記のような課題に着目してなされたもので、十分に興趣を高めることができる遊技機を提供することを目的とする。

【手続補正 6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

上記の課題を解決するため、請求項 1 に記載の発明は、
遊技者の開始操作部の開始操作によって複数の識別情報の変動表示を開始し、遊技者の停止操作部の停止操作によって当該複数の識別情報を停止表示させる変動表示ゲームを実行する変動表示手段と、

前記変動表示ゲームの実行に伴い所定の演出表示を行う演出表示装置と、

前記演出表示装置における表示を制御する制御手段と、を備える遊技機において、

前記開始操作部及び前記停止操作部を有する台部を備え、

前記演出表示装置は、前記台部を挟んだ上側の第 1 表示領域と、下側の第 2 表示領域とで構成され、

前記制御手段は、

前記第 1 表示領域に表示可能な第 1 表示態様と、前記第 2 表示領域に表示可能な第 2 表示態様とを制御可能であり、

前記第 1 表示態様と前記第 2 表示態様とで形成され、前記第 1 表示領域と前記第 2 表示領域とに跨るように表示可能な特定表示態様を制御可能であることを特徴とする。

【手続補正 7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 8】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 9】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0010

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 10】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0011

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 11】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】 0 0 1 2
【補正方法】 削除
【補正の内容】
【手続補正 1 2】
【補正対象書類名】 明細書
【補正対象項目名】 0 0 1 3
【補正方法】 削除
【補正の内容】
【手続補正 1 3】
【補正対象書類名】 明細書
【補正対象項目名】 0 0 1 4
【補正方法】 削除
【補正の内容】
【手続補正 1 4】
【補正対象書類名】 明細書
【補正対象項目名】 0 0 1 5
【補正方法】 削除
【補正の内容】
【手続補正 1 5】
【補正対象書類名】 明細書
【補正対象項目名】 0 0 1 6
【補正方法】 削除
【補正の内容】
【手続補正 1 6】
【補正対象書類名】 明細書
【補正対象項目名】 0 0 1 7
【補正方法】 削除
【補正の内容】
【手続補正 1 7】
【補正対象書類名】 明細書
【補正対象項目名】 0 0 1 8
【補正方法】 削除
【補正の内容】
【手続補正 1 8】
【補正対象書類名】 明細書
【補正対象項目名】 0 0 1 9
【補正方法】 削除
【補正の内容】
【手続補正 1 9】
【補正対象書類名】 明細書
【補正対象項目名】 0 0 2 0
【補正方法】 削除
【補正の内容】
【手続補正 2 0】
【補正対象書類名】 明細書
【補正対象項目名】 0 0 2 1
【補正方法】 変更
【補正の内容】
【 0 0 2 1】

本発明によれば、十分に興味を高めることができる。

【手続補正 2 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

遊技者の開始操作部の開始操作によって複数の識別情報の変動表示を開始し、遊技者の停止操作部の停止操作によって当該複数の識別情報を停止表示させる変動表示ゲームを実行する変動表示手段と、

前記変動表示ゲームの実行に伴い所定の演出表示を行う演出表示装置と、

前記演出表示装置における表示を制御する制御手段と、を備える遊技機において、

前記開始操作部及び前記停止操作部を有する台部を備え、

前記演出表示装置は、前記台部を挟んだ上側の第 1 表示領域と、下側の第 2 表示領域とで構成され、

前記制御手段は、

前記第 1 表示領域に表示可能な第 1 表示態様と、前記第 2 表示領域に表示可能な第 2 表示態様とを制御可能であり、

前記第 1 表示態様と前記第 2 表示態様とで形成され、前記第 1 表示領域と前記第 2 表示領域とに跨るように表示可能な特定表示態様を制御可能であることを特徴とする遊技機。